

## 【5】第10号議案 総会特別決議 総会特

2026年2月15日  
緑の党グリーンズジャパン総会出席者一同

2月14・15日、私たち緑の党グリーンズジャパンは、東京都で第15回総会を開催しました。

この総会は、1週間前（2月8日）の衆院選の直後に行なわれました。同選挙では、小選挙区制の歪みや莫大な宣伝費によってもたらされた要素も大きいとはいえ、自由民主党が単独で3分の2を超える議席を占め、中道改革連合に合流した立憲民主党は事実上の壊滅状態となり、日本共産党・れいわ新選組・社会民主党も極めて厳しい結果となりました。戦後日本社会が培ってきた平和主義・基本的人権や民主主義が崩されようとしており、市民社会にとってきわめて深刻な事態を迎えています。

世界でも、深刻な気候危機、戦争と人道危機、社会の分断や対立の拡大など、今も不安定で危機的な状況が続いています。

総会では、これまでの活動の成果や課題、今後の活動の方向性を確認するとともに、国内外の深刻な危機的状況－とりわけ今回の衆院選での深刻な結果を受け、私たちの活動や発信のあり方などの根本的な検証や今後の課題について、多角的に議論を重ねました。また、特別講演では柏崎刈羽原発を強行に再稼働させた東電について報告を受け、その問題点を共有しました。

困難な状況の中、世界の緑の仲間たちは、分断を乗り越え、際限のない利益追求と闘い、連帯と分かち合いの持続可能な経済社会をめざし、新しい社会運動と密接につながりながら新たな希望を示してきました。また、国境を越えたネットワークを持つ緑の党の可能性は、不安定化する東アジアの平和構築に向けて大きな意義を持っています。私たちは、緑の党の原点とその存在意義をあらためて確認し、来年4月を頂点とする一連の自治体選挙での躍進と、2028年の参院選での政治変革に向けて、力を結集していくことも確認しました。

私たちは、今年も、世界各地で広がるあらゆる差別・排除・分断に対して、全面的に立ち向かいいます。そして、私たちが先人たちから引き継いだ自由・民主主義・人権の大切さをあらためて自覚し、守り発展させるため、憲法で謳う「不断の努力」をこれからも重ねます。

また、国内外で進行する民主主義や自由・人権の蹂躪や軽視に強く抗議し、それに抗する人びとの必死の取り組みに最大の敬意と連帯を表明します。そして、総会に出席できなかつた仲間たちとともに、本年も全力で活動することを決意します。